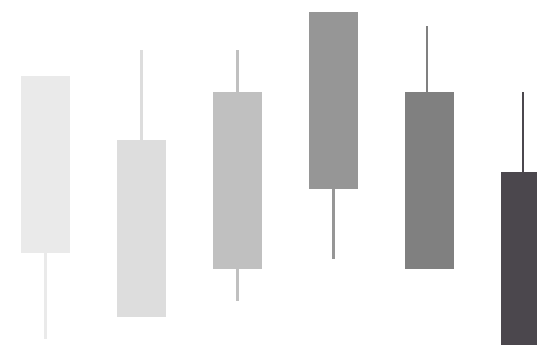




2012年3月期 第3四半期 決算説明会資料



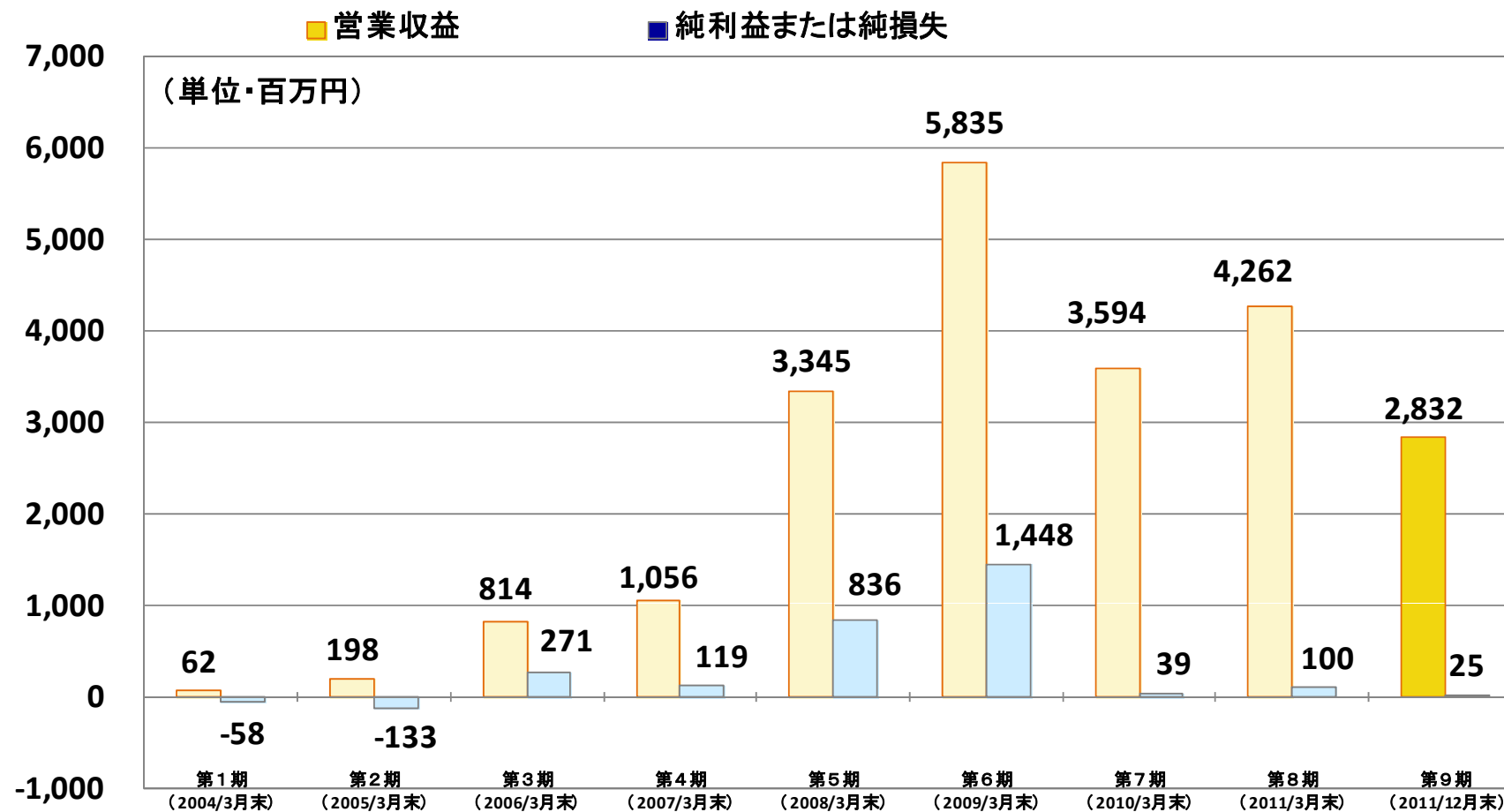
2012年2月13日



未来を育てる、プライムクオリティ ～外貨投資のその先に～

- 2012年3月期 第3四半期決算概要 …… 3ページ
- 第3四半期の成果 ……11ページ
- 保証金規制の影響 ……16ページ
- 2011年度の課題と取り組みについて ……18ページ
- FX業界の現状と方向性および当社の成長戦略 ……30ページ
- 株主還元について ……36ページ

2012年3月期 第3四半期 決算概要



- 第3四半期累計期間(2011年4月～2011年12月)の当期純利益は、前年同期比△99百万円の25百万円。
- 取引高は保証金規制強化および相場が低調であったことの影響により前年同期比△387億通貨の2,263億通貨。
- 口座数は前事業年度末比+11,740口座の117,825口座。
- 預り保証金は、お客様口座数の増加ならびに保証金規制強化の影響等により前事業年度末比+1,824百万円の14,334百万円。

■ 2012年3月期 第3四半期累計期間 (2011年4月1日～2011年12月31日)

	実績	前年同期比		実績	前年同期比
営業収益	2,832百万円	△504百万円 15.1%減	取引高 (ASP含)	2,263億通貨	△387億通貨 14.6%減
経常利益	56百万円	△202百万円 78.2%減	お客様 口座数	117,825口座	+11,740口座 11.1%増
当期純利益	25百万円	△99百万円 79.9%減	預り保証金	14,334百万円	+1,824百万円 14.6%増

- ◆ 保証金規制強化による取引高減少の影響および12月の為替相場の動きが低調であったことから取引高が減少し、前年同期比で減収減益となった。

財務諸表

■貸借対照表 (百万円)

	A	B	C
	2012年3月期 3Q	2011年3月期	前事業年度末比
1 流動資産	20,540	18,201	12.9%
2 現金及び預金	4,393	3,842	14.3%
3 顧客区分管理信託	12,900	12,836	0.5%
4 外国為替保証金取引評価勘定	2,470	937	163.6%
5 固定資産	1,148	1,387	△17.2%
6 資産合計	21,689	19,589	10.7%
7 流動負債	16,717	14,485	15.4%
8 外国為替保証金取引預り保証金	14,334	12,510	14.6%
9 固定負債	162	283	△42.7%
10 純資産	4,808	4,820	△0.2%
11 負債・純資産合計	21,689	19,589	10.7%

■損益計算書 (百万円)

	A	B	C
	2012年3月期 3Q	2011年3月期 3Q	前年同期比
1 営業収益	2,832	3,336	△15.1%
2 販売費及び 一般管理費	2,770	3,082	△10.1%
3 営業利益	61	253	△75.8%
4 経常利益	56	259	△78.2%
5 当期純利益	25	124	△79.9%
6 人件費	461	474	△2.7%
7 システム経費	702	779	△9.8%
8 減価償却費	349	304	15.0%
9 広告宣伝費	213	347	△38.8%
10 支払手数料	677	764	△11.3%

POINT①

お客様資産保護の観点から預り保証金等(純資産額)に一定額を上乗せし、みずほ信託銀行で金銭信託にて区分管理を実施。

POINT②

外国為替保証金取引評価勘定の増加は、為替相場の変動によるお客様の含み損の増加によるもの。

POINT③

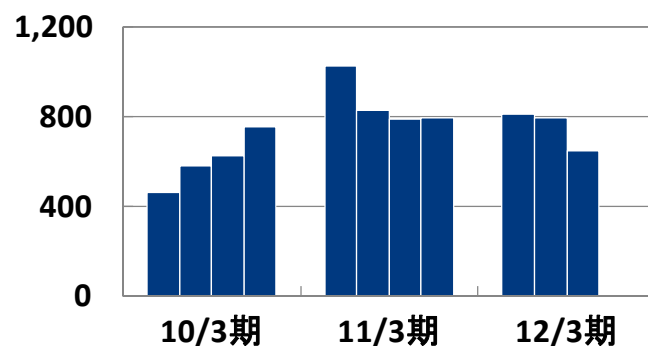
システム経費、広告宣伝費は継続的な経費の見直し効果により削減に成功。

POINT④

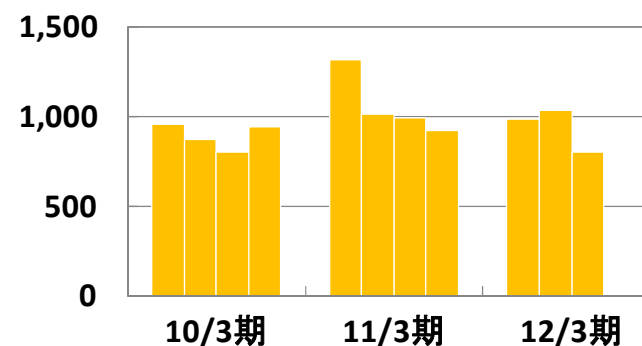
取引高の減少に伴い、支払手数料が減少。

四半期決算推移

取引高 (ASP含) (単位:億通貨)



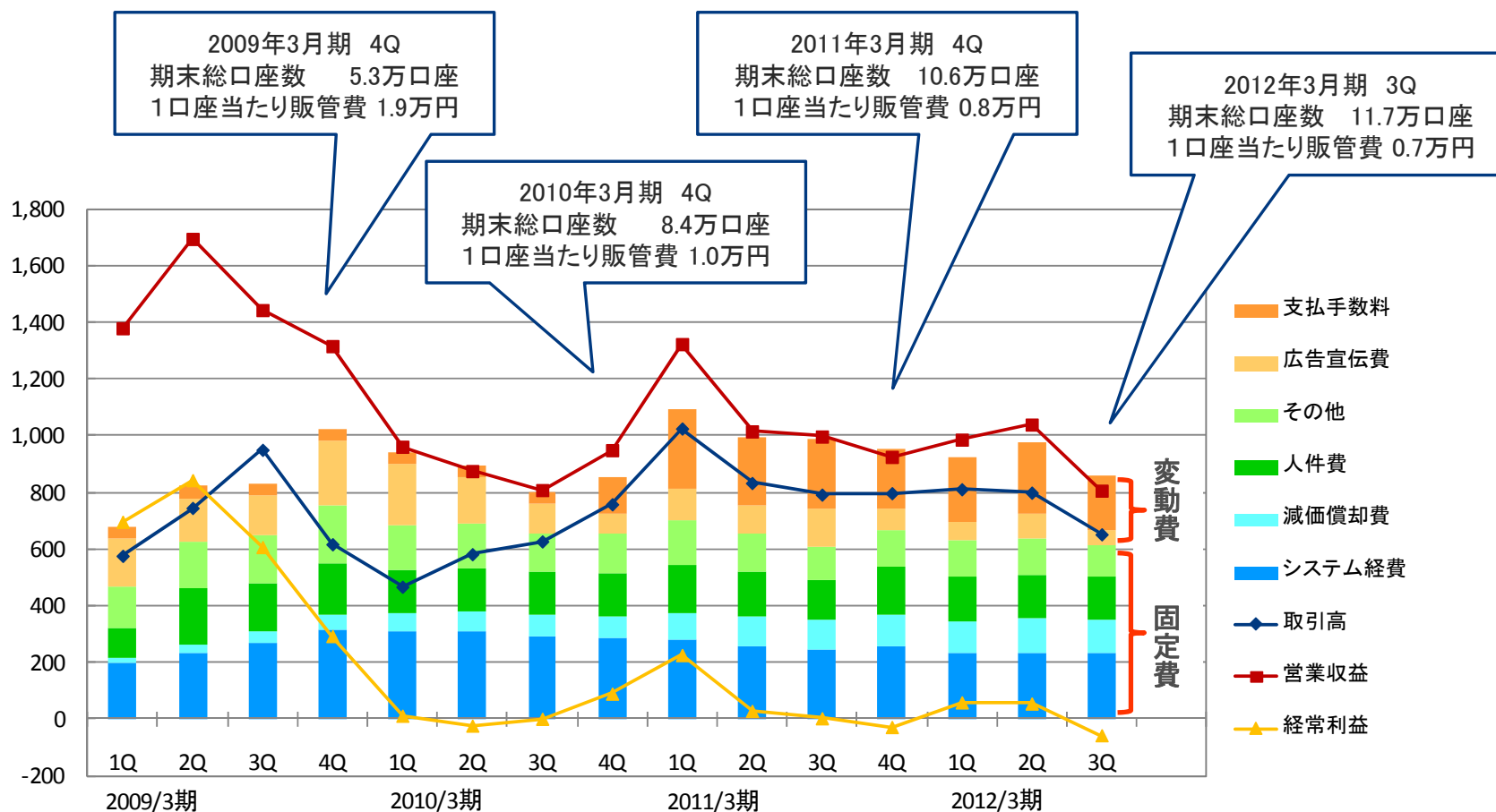
営業収益 (単位:百万円)



		2010/3期				2011/3期				2012/3期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
1	取引高 (億通貨)	467	582	627	758	1,025	833	792	797	811	799	652
2	営業収益 (百万円)	961	875	808	949	1,323	1,015	997	925	986	1,039	806
3	人件費 (百万円)	152	153	152	151	174	157	143	167	156	155	150
4	システム経費 (百万円)	308	307	294	285	281	254	243	259	232	236	234
5	減価償却費 (百万円)	64	71	75	79	90	106	107	111	114	118	116
6	広告宣伝費 (百万円)	217	162	105	72	114	100	132	75	68	88	56
7	支払手数料 (百万円)	42	42	41	129	277	241	245	208	226	256	194
8	経常利益 (百万円)	12	△ 23	1	90	226	29	3	△ 28	59	55	△ 57
9	当期純利益 (百万円)	3	△ 14	1	48	114	5	4	△ 24	31	31	△ 37

- ◆ 経費の削減は継続しているものの、取引高減少の影響による営業収益の減少を補い切れず第3四半期は減収減益となった。

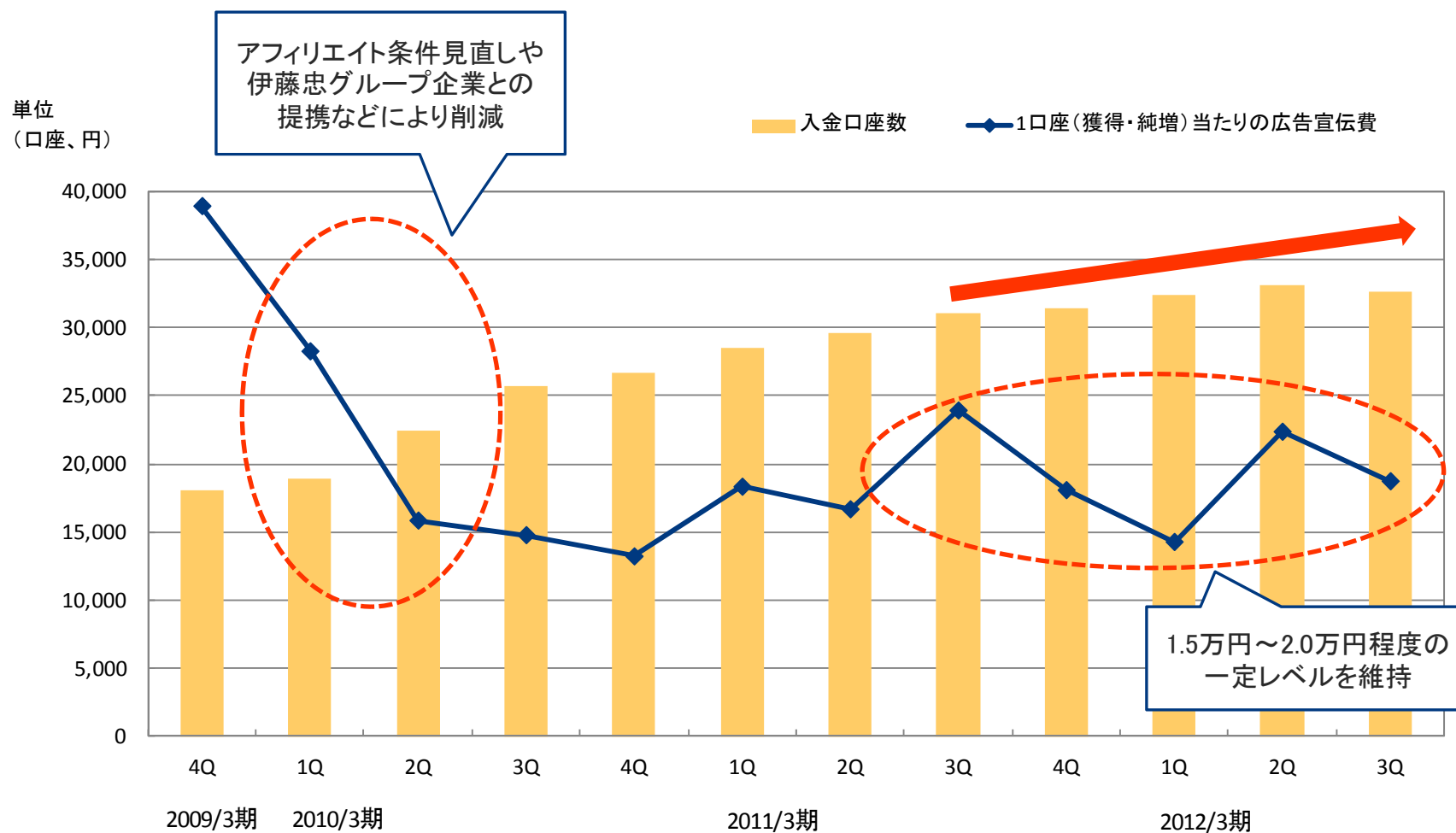
(ご参考)固定費・変動費の推移



カブドットコム証券(ASP先)
 FX手数料無料化

- 固定費は、継続的な業務の見直しおよび効率化により、商品・サービス、口座数の増加にもかかわらず四半期600百万円レベルに抑制

(ご参考) 入金口座数と1口座(獲得)当たりの広告宣伝費の推移

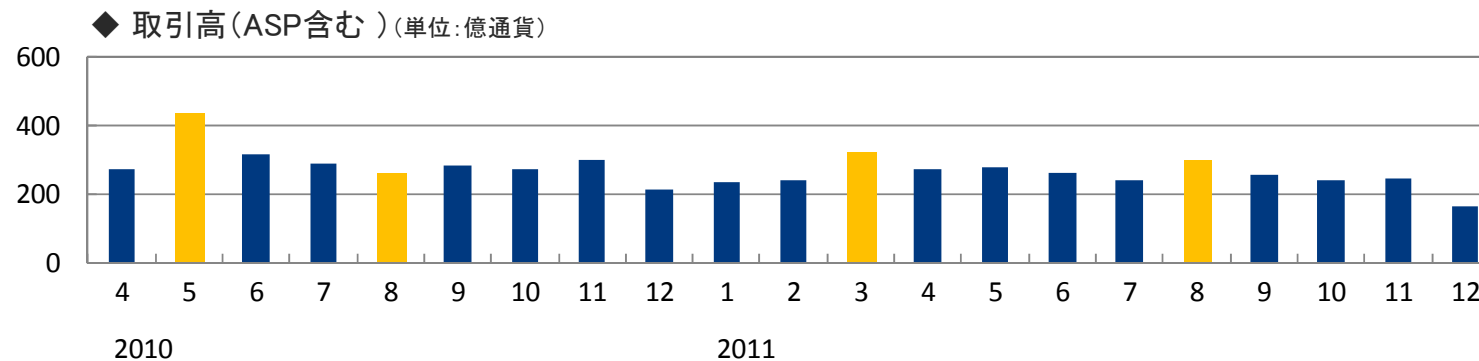
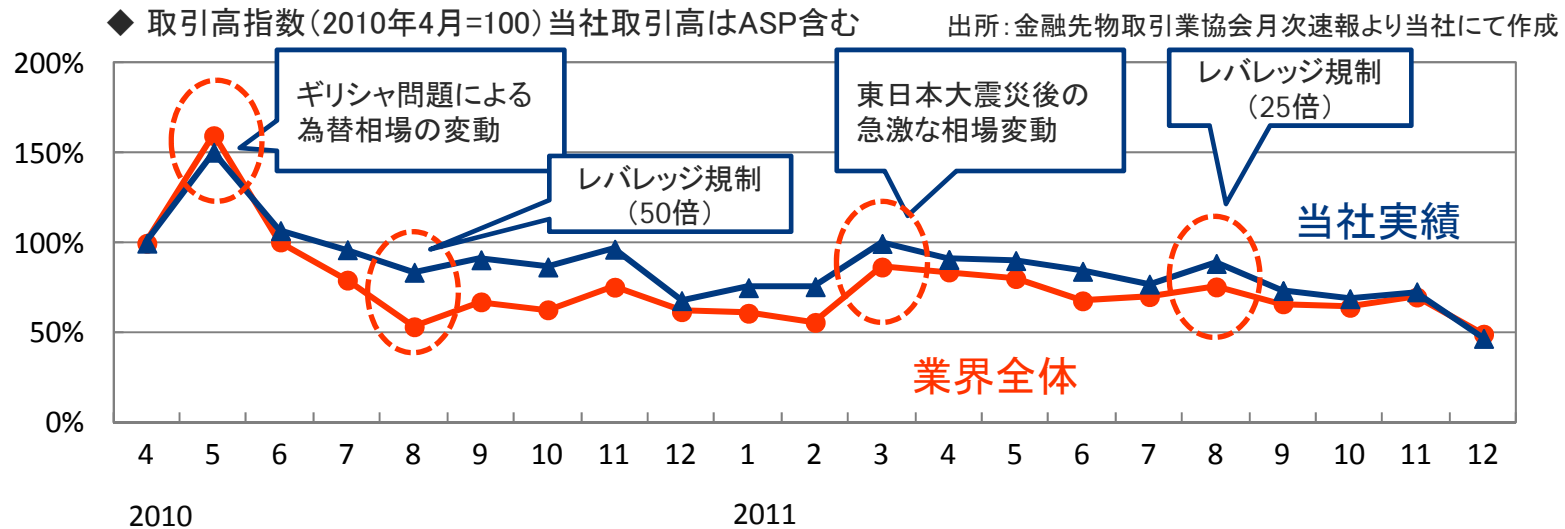


1口座(獲得)当たりの広告宣伝費をコントロールしながら、入金口座は1年間で5.3%増加

第3四半期の成果

取引高推移

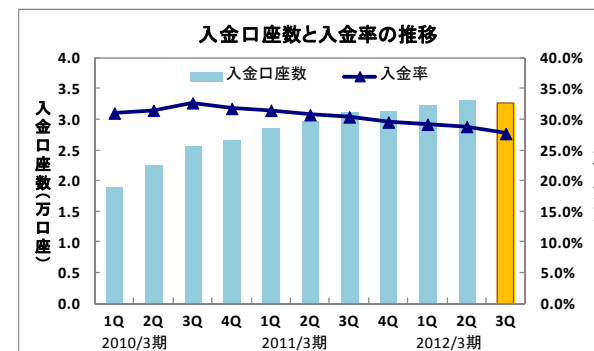
- レバレッジ規制(25倍)以後、業界全体で取引低調。
- 12月はクリスマス相場の影響も強く、取引高は大幅に減少。



口座数・預り保証金・取引件数

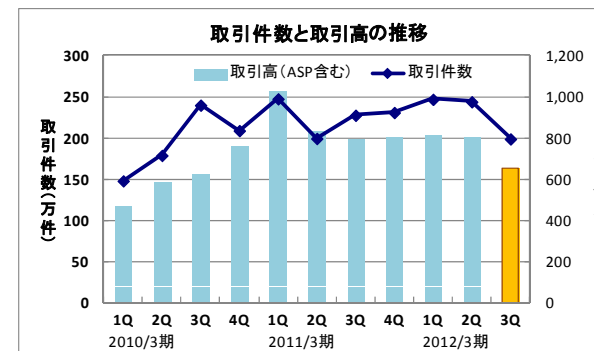
- 口座数は順調に増加しているものの、入金率の低下が引き続きの課題。

	《2011/12月末》	《2010/12月末》	
総口座数	11.7万口座	10.1万口座	+15.6%
入金口座数	3.2万口座	3.1万口座	+5.3%
入金率	27.7%	30.4%	△2.7%



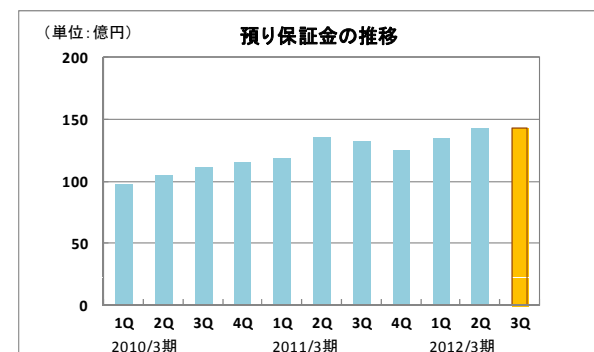
- 取引件数、取引高とも減少。

保証金規制強化の影響およびクリスマス相場の影響により第3四半期は取引件数、取引高とも落ち込んだ。



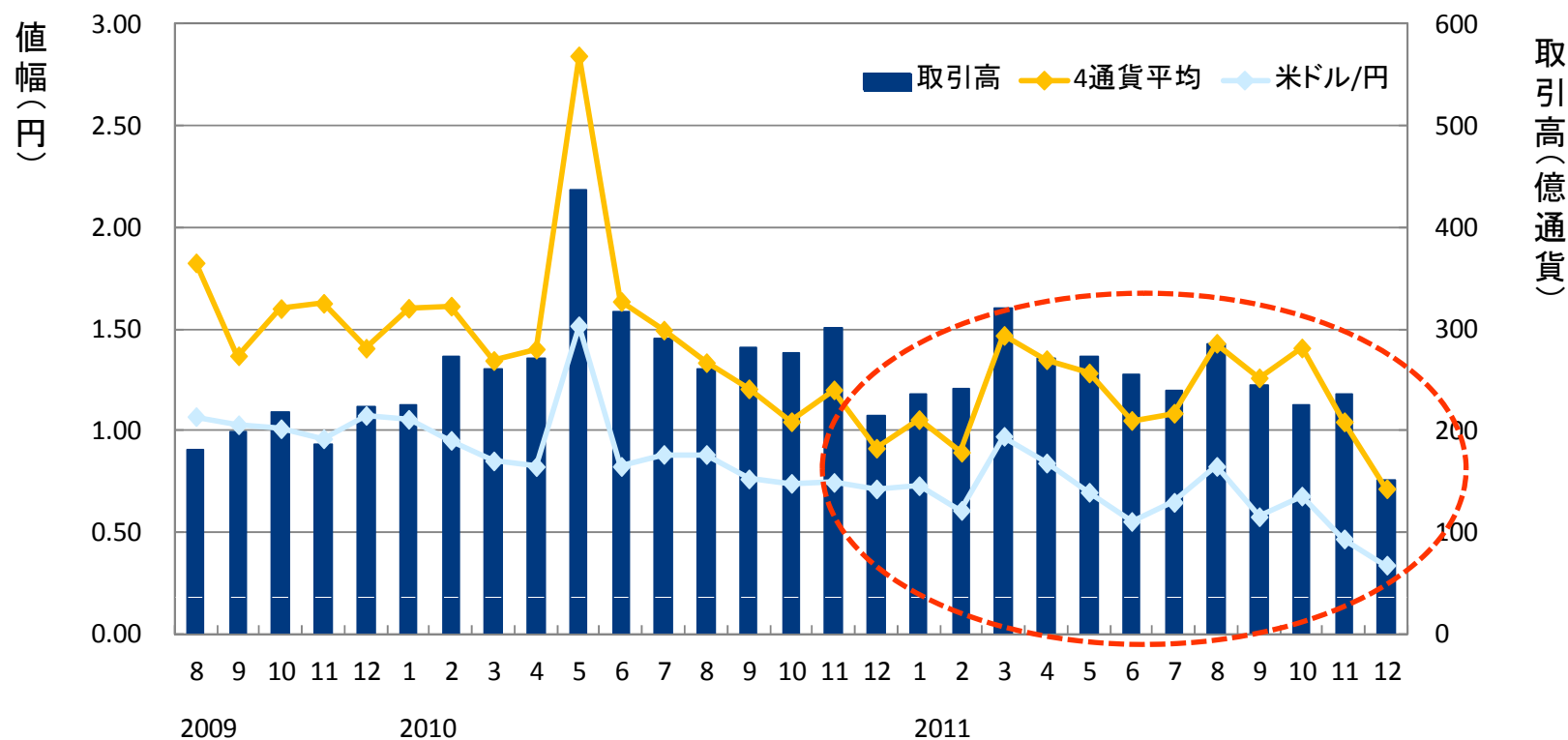
- 預り保証金は143億円。

お客様口座数の増加や保証金規制等の影響などにより、預り保証金の増加傾向は変わらず、第2四半期末に続き140億円超となった。



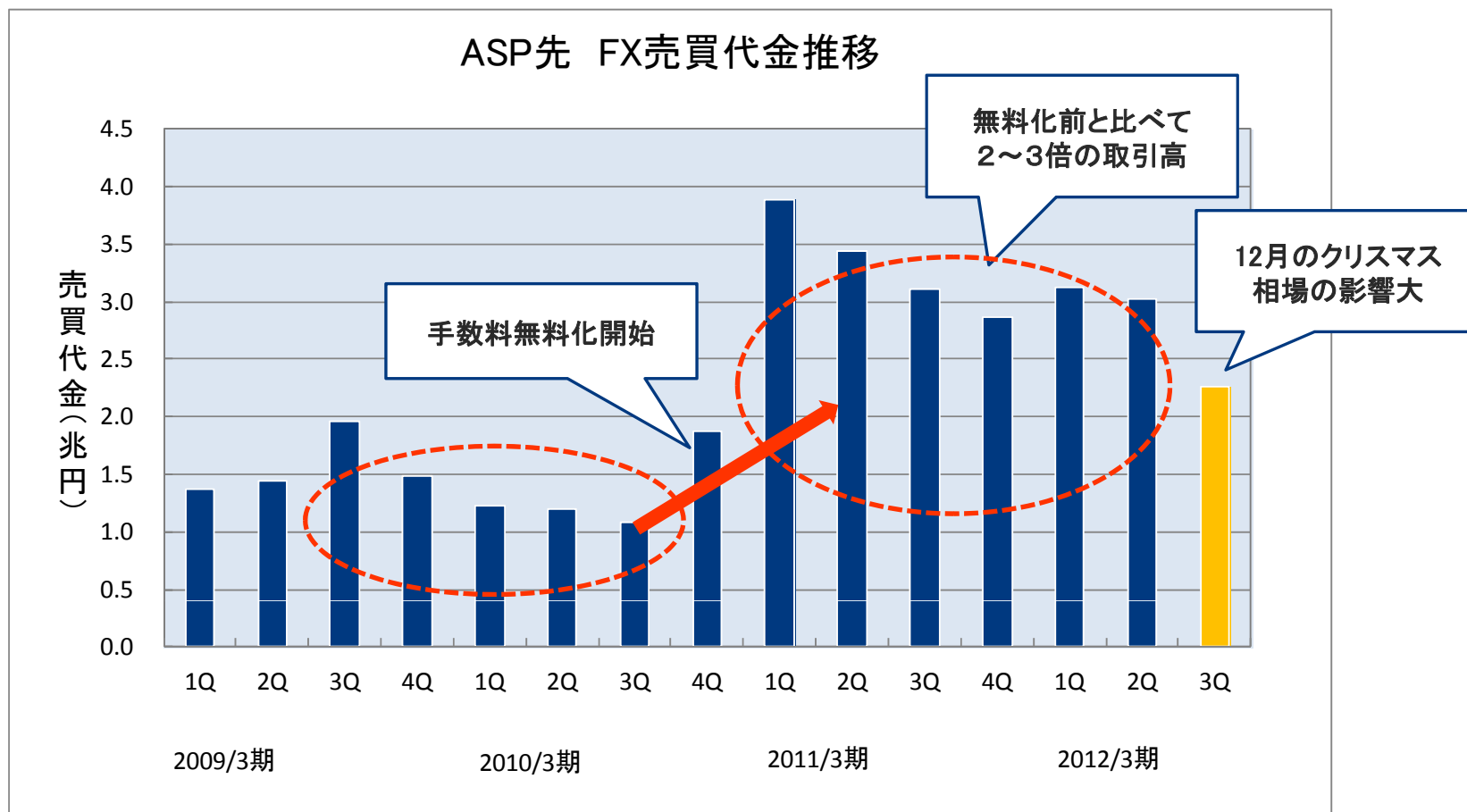
(ご参考) 主要通貨の値幅と取引高の推移

- 値動きの乏しい相場状況でも取引高の水準を維持するため、各種施策を実施。
- お客様基盤の拡大によりボラティリティに依存しない事業体制の強化を目指しているが、12月の取引高減少の影響は補い切れず。



※取引高はASP含む。

※4通貨平均(米ドル/円、ユーロ/円、ポンド/円、豪ドル/円)の、1日ごとの高値と安値の幅を月間平均したもの。

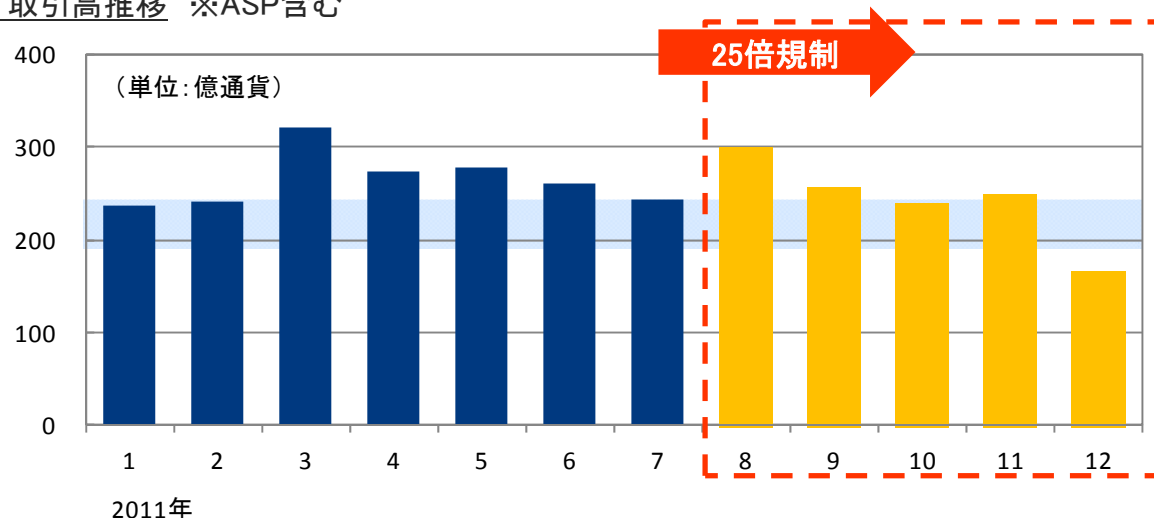


出所:カブドットコム証券ホームページ公表資料より当社にて作成

保証金規制の影響

- 規制強化以後も7月と同水準を保っていたものの、12月はクリスマス相場の影響により7月比32%減少となった。

◆ FXプライム 取引高推移 ※ASP含む



※1件当たり取引高および1入金者当たり取引高について (ASP除く)

	7月	11月	(7月比)	12月	(7月比)
・1件当たり取引高	2.05万通貨	1.89万通貨	(△7.8%)	1.86万通貨	(△9.1%)
・1入金者当たり取引高	44.87万通貨	42.81万通貨	(△4.6%)	27.46万通貨	(△38.8%)
・1入金者当たり取引件数	21.89件	22.65件	(+3.5%)	14.74件	(△32.7%)

◆ FXプライム コース別取引高割合の推移 ※ASP含む

	2011年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1万円コース	23.3%	21.4%	21.7%	25.2%	26.1%	24.4%	23.8%	15.3%	13.8%	13.7%	13.1%	12.6%
2.5万円コース 以上	76.7%	78.6%	78.3%	74.8%	73.9%	75.6%	76.2%	84.7%	86.2%	86.3%	86.9%	87.4%

2011年度の課題と 取り組みについて

保証金規制等を乗り越え
「次の成長ステージ」へ向かうための重要な年

【 総 合 力 】

お客様基盤構築

商品・サービス強化

既存ビジネス強化

経営インフラ整備・強化

総合力を基盤に、“強みづくり”へ

2011年度の課題 “強みづくり”の推進

サービスレベルのさらなる向上に取り組み、当社独自の強みづくり

【従来】

すべてのお客様に同じ
商品・サービスを開発・提供



【今後】

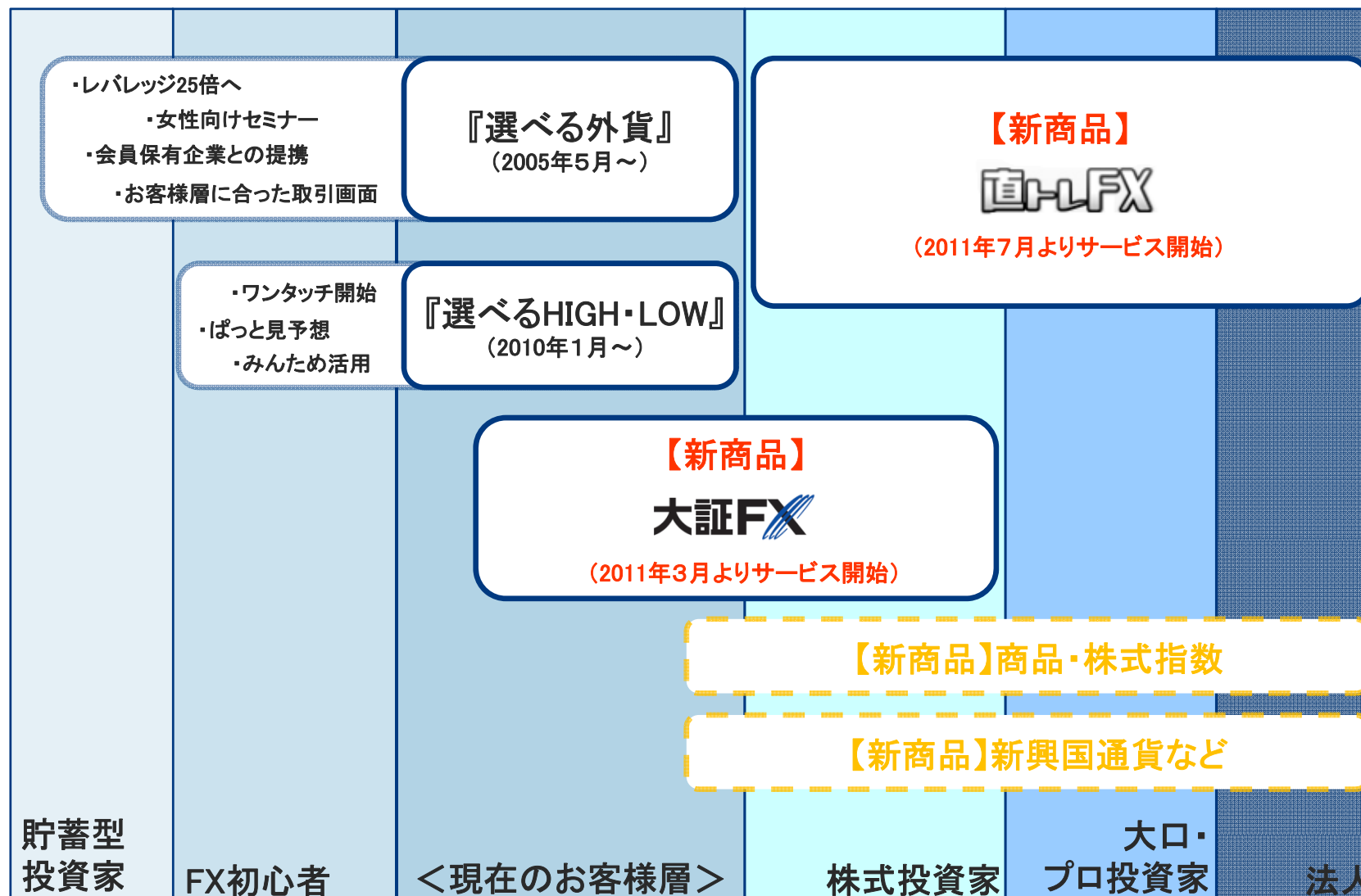
多様なお客様のニーズに合う、
きめ細かな商品・サービスの
開発・提供に取り組む

お客様満足度の向上

=

幅広いお客様に
選ばれるFX企業へ

■ 新たな商品・サービスの導入により、新たなお客様層の開拓に注力する



第3四半期の取り組み

第3四半期の主な取り組み

- 他社サービスとの差別化を図るため、独自の強みづくりを継続
- お客様同士のコミュニケーション機会提供にさらに注力

お客様基盤構築

- ◆ 口座開設キャンペーン
- ◆ 「雇用統計NIGHT X'mas女子会」の実施（米雇用統計カウントダウンイベント）
- ◆ 「FX投資女子会」「小規模会場セミナー」の実施（FX体験型セミナー）
- ◆ 大規模会場セミナーの実施（名古屋、仙台）

商品・サービス強化

- ◆ ユーロ／円、豪ドル／円のスプレッドを2～3銭へ縮小（恒常化）
- ◆ 「PRIMEチャレンジ」（キャッシュバック抽選ゲーム）サービス開始
- ◆ オンラインセミナーの充実
- ◆ 取引促進キャンペーン（トレードキャンペーン、レポートプレゼントキャンペーンなど）

商品・サービス強化

- 業界初キャッシュバック抽選ゲーム「PRIMEチャレンジ」のサービス開始
- ゲームを通じて、FXおよび当社商品に親しみを持っていただき、継続的取引による取引高の増加を目指す

1回以上の取引でチャンス!
サイコロ振って当たりが出たら キャッシュバック!
PRIMEチャレンジ
サイコロは2種類。白いサイコロで当たりが出るとキャッシュバック! 金のサイコロが出たら…?

毎週当たる?!

PP

当たり



期間中、対象商品を**1**回でも取引すると抽選のチャンス! 見事当たりが出れば、キャッシュバック!

↓毎週対象商品が変わるので、詳細はこのページでチェック!

1月16日～1月21日のPRIMEチャレンジ対象商品・通貨ペア

『選べる外貨』

豪ドル/円

毎週チャンス!
PRIMEチャレンジ
スタート →
PP
プライズくん

当たり

はずれ

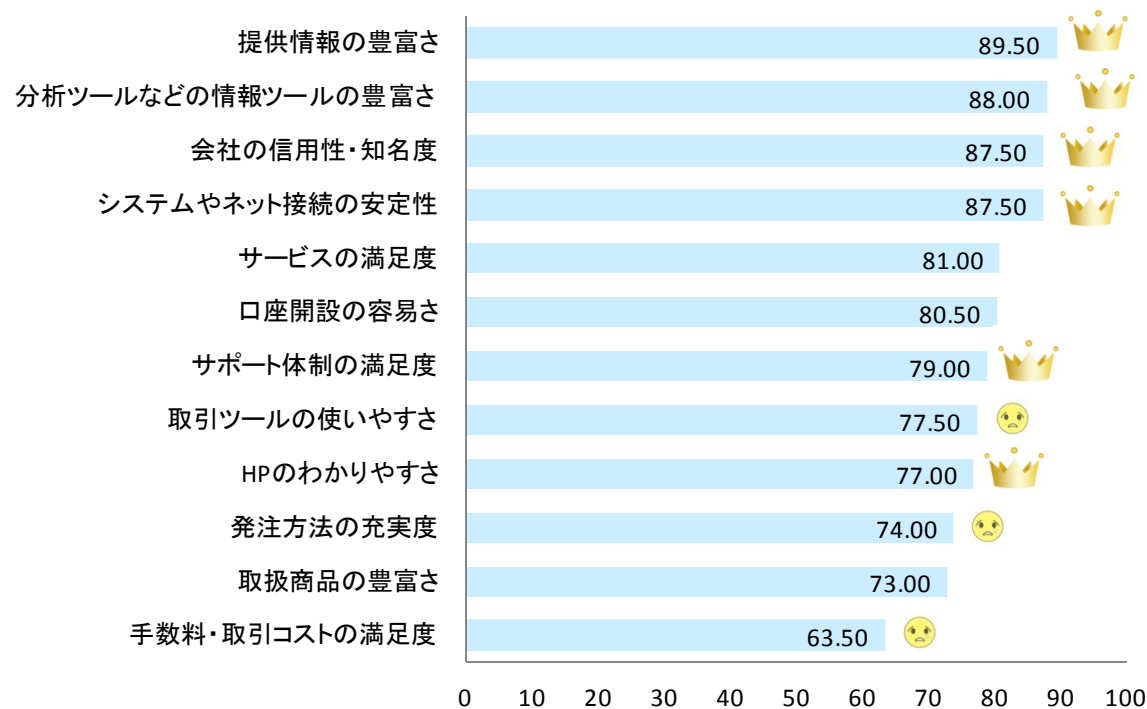
毎週チャンス!
PRIMEチャレンジ
はずれ
PP

毎週チャンス!
PRIMEチャレンジ
当たり
はずれ
3,000円

毎週チャンス!
PRIMEチャレンジ
大当たり
10,000円 × 2倍 = 20,000円

(ご参考)顧客満足度ランキングについて

- オリコンDD株式会社にて実施された「2012年度版オリコン顧客満足度の高いFX取引ベスト15」において、総合3位にランクイン
- 調査対象の全12部門中、半数となる6部門で1位を獲得



- ◆ 情報関連、会社の信用度、システム安定性などの満足度が1位 (👑)
- ◆ 取引コスト、取引ツールなどの満足度が低い (😞)

今後の取り組み

第4四半期以降の取り組み

- 当社の総合力および“強みづくり”は確実に成果を上げており、保証金規制により減少した取引高の早期回復に向けた取り組みを今後も継続

独自の強み

- 雇用統計NIGHT
- 投資女子会
- シニア層向け小規模セミナー

取引の促進

- 各種キャンペーン
- オンラインセミナー

これらに加え、お客様満足度の低い“課題”に迅速に対応

お客様のニーズに合う、きめ細かなサービスの提供により
幅広いお客様に選ばれるFX企業へ

① 小数点以下3桁化とスプレッドの縮小

- 為替レートの提供方法を小数点以下2桁から小数点以下3桁へ変更し、スプレッドも縮小(2012年1月23日より)

下3桁化の利点

- お客様の取引機会が数倍に拡大
- スプレッドのさらなる縮小が可能
- カバー収益の改善

	[現在]			[3桁化]	
	BID (売りレート)	OFFER (買いレート)		BID (売りレート)	OFFER (買いレート)
元レート	78.00	78.02	=	78.000	78.020
変動レート	78.01	78.03		78.001	78.021
	78.02	78.04		78.019	78.039
				78.020	78.040
	レート提示回数：最大 2回		<	レート提示回数：最大 20回	

3桁化実施により、同じ2銭の変動でも、取引機会が数倍に拡大

当社提供スプレッド

(※キャンペーン期間：2012年1月23日～2012年2月29日)

米ドル/円 0.8銭～1.8銭

ユーロ/円 1.8銭～2.8銭

豪ドル/円 1.8銭～2.8銭

②取引ツールの充実

- お客様ニーズの高いスマートフォンおよびiPad専用アプリの開発
- 当社の人気ツール「ぱっと見テクニカル」をアプリへ搭載し他社との差別化を図る



ワンタップでスピーディな
注文が可能！

『選べる外貨』初の
ドテン注文実装！



お客様の取引促進および収益獲得機会の増加

当社独自の強みづくり

FX業界の現状と方向性 および当社の成長戦略

業界の現状

『事業者の総合力が問われる時代』において

- ▶ レバレッジ25倍の保証金規制開始に伴う取引高の減少により減収となる中、顧客ポジションは増加傾向にあり、カバー先金融機関から要求される担保額が増大

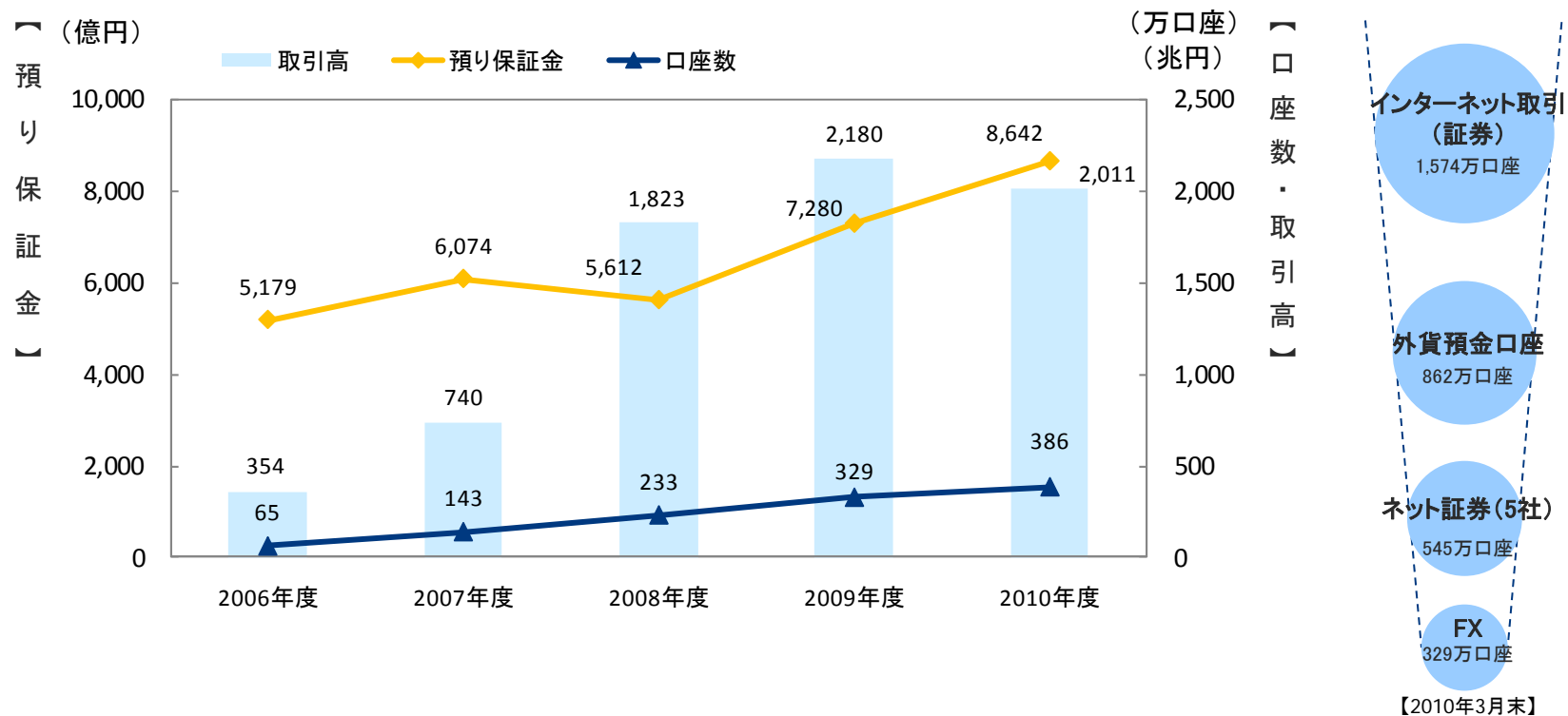
 **財務基盤、経営体力の脆弱な事業者の淘汰・撤退が進行中**

- ▶ 大手・中堅の事業者の再編の可能性も・・・

業界の方向性

短期的には事業者が本格的に選別される時代へ入るものの、中・長期的には保証金規制強化等によりお客様層のすそ野が拡大することでFX商品の認知度が高まることや、税制の一本化で特に店頭取引の成長が期待される。

(ご参考)FX業界の成長性



- ✓ 規制による一時的な取引高減少はあるものの、口座数、預り保証金は順調に増加
- ✓ 日本のみならず世界の様々な要因により変動し、下げ相場でも収益機会があるなどFXの良さが浸透・再認識される

FX業界は依然、成長が期待できる分野

出所: 金融先物取引業協会、日本証券業協会、カブドットコム証券株式会社、株式会社SBI証券、マネックス証券株式会社、楽天証券株式会社、松井証券株式会社の各ホームページ公表資料より

- 平成23年度税制改正法案が可決・成立し、平成24年(2012年1月1日)より申告分離課税に一本化

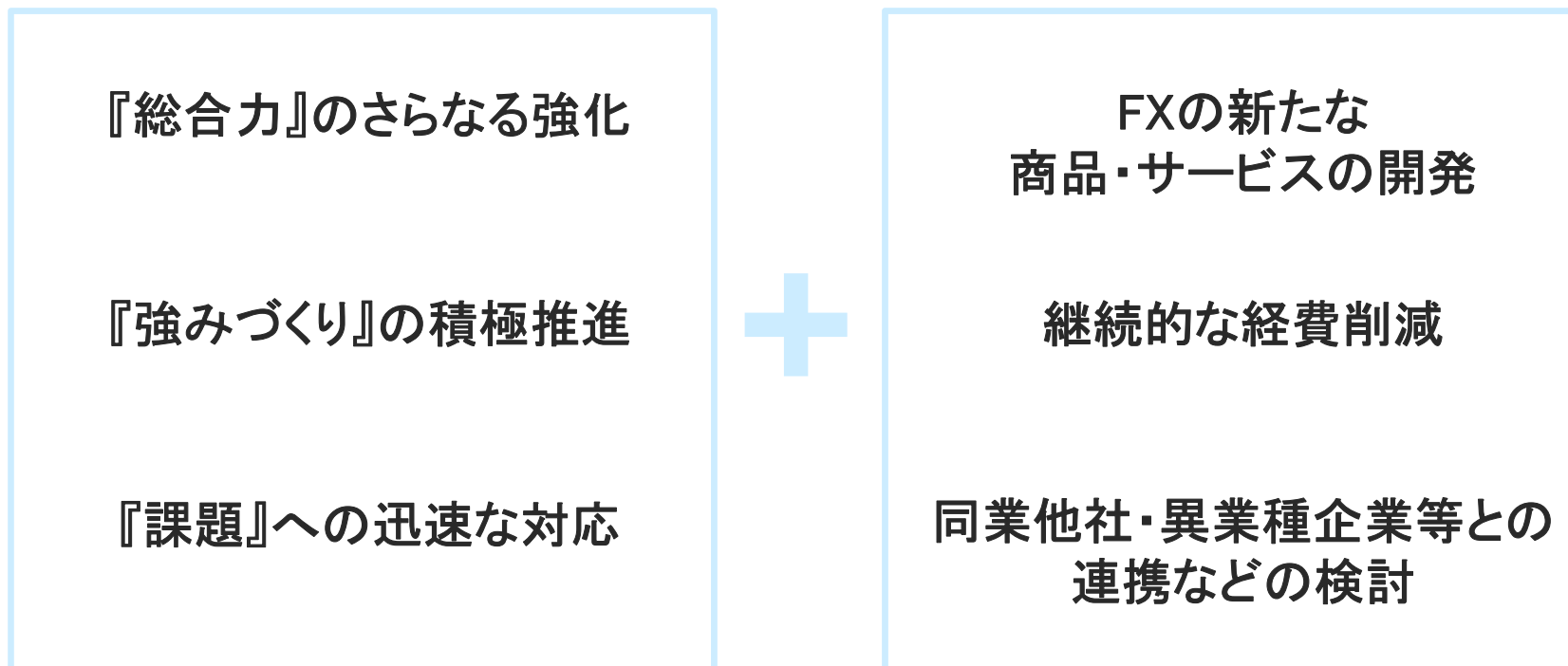
「現在、店頭金融デリバティブ取引に係る所得については、総合課税としていますが、金融商品間の課税の中立性を高める観点から、市場金融デリバティブ取引に係る所得と同様に、20%申告分離課税とした上で、両者の通算及び損失額の3年間の繰越控除を可能とします。」(平成23年度税制改正大綱 14ページより抜粋)

<従来>

	店頭取引	取引所取引 (くりっく365 大証FX)
税制	総合課税	申告分離課税
税率	10~50%	20%
繰越控除	×	3年間
損益通算	店頭FXの他社損益・ CFD損益・年金など	証券先物取引・ 商品先物取引など

店頭取引の税制も取引所取引の税制と同様に・・・

税制面において取引所取引の優位性が無くなり、
独自の商品性とサービスの競争に



圧倒的なお客様層と取引口座数の増加により
「次なる成長ステージ」を目指す

FXプライムは、業界のリーディングカンパニーへ！

ステークホルダー満足度の総和を最大化

I. 投資家満足度を最大化

- ① 外部環境の変化を克服し、サステイナブルであり続ける強い事業体制の構築
- ② 資本市場の声を重視する経営



II. お客様満足度を最大化

- ① お客様のニーズに応える商品・サービスの開発・提供
- ② お客様に「勝っていただく」ための有益な投資情報・投資ツールを提供

株主還元について

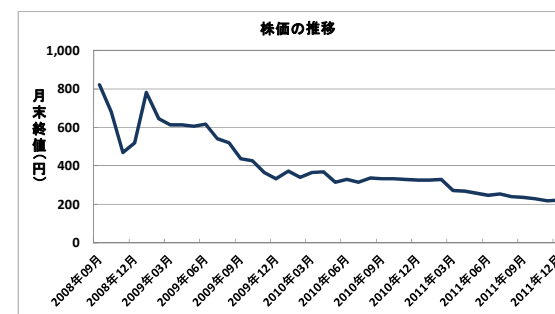
■ 利益配分に関する基本方針

当社は、株主還元を重視し、配当原資確保のための収益力の強化に努め、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針として配当性向30%を目指します。

	2009/3期		2010/3期		2011/3期		2012/3期	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末
1株当たり配当金	-	25.0円	-	4.0円	3.0円	2.0円	2.5円	-

■ 株式の状況 (2011年9月末現在)

発行可能株式総数	25.0 百万株
発行済株式総数 (普通株式)	8.3 百万株
自己株式数	0.2 百万株
株主数 (普通株式)	4,808 名



■ 株主優待制度

- 優待制度 (1) 年1回、毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された、1単元(100株)以上の株式を保有する株主様を対象に、QUOカードを贈呈します。
- 優待制度 (2) 基準日現在の当社株主名簿に記載または記録された、1単元(100株)以上の株式を保有する株主様で、当社に代表口座(外国為替取引口座)を開設され、かつ当社で外国為替保証金取引をされた方を対象に、『選べる外貨』の毎月の取引高に0.1銭を乗じた金額をキャッシュバックいたします。
(基準日: 毎年3月31日および9月30日)

ご清聴ありがとうございました。

本日はご多忙の中、当社説明会にご出席くださりまして、誠にありがとうございました。株主・投資家の皆さまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本資料は、当社をご理解いただくために作成したもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

正確性を期すために本資料は慎重に作成していますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた損害については、当社は一切責任を負いませんので、予めご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

http://www.fxprime.com/ir_info/

FXプライム株式会社 経営企画部 広報・IRチーム

TEL : 03-5469-7565(代)

E-mail : fxp-ir@fxprime.com